

再発がんの治療を始めるときに

更新・確認日: 2019年04月23日 [履歴]

履歴

2019年04月23日 「患者必携サイト」から移設しました。

2012年02月01日 掲載しました。

閉じる

このページは、書籍「患者必携」シリーズの内容を抜粋して掲載しています。

1. 自分の状態を知る 2. 痛みやつらい症状を和らげる

治療を始めるときには、まず自分の状態を知ること、そして、痛みやつらい症状がある場合には、その症状を和らげるための治療を受けることが大切です。

1. 自分の状態を知る

「再発した」という知らせに頭が真っ白になってしまったり、医師の説明が耳に入らなかった、という人は大勢います。それは無理もないことです。でも、自分が納得できる治療法を選ぶためには、あなた自身の体の状態を知り、がんの性質を知り、どのような選択肢があるのかを知ることが必要になります。

場合によっては厳しい現実を知らされるかもしれませんが、あなたのことを支えてくれる家族や親しい人の力も借りながら、担当医に尋ねてみてください。

そして、ひとりで立ち向かう必要はないこともぜひ心にとめておいてください。また、無理に急ぐ必要はありません。がん相談支援センターや患者会などには、あなたを支えたいと思っている人がたくさんいます。つらい、苦しい、現実を見たくないという気持ちを、そのまま伝えてみてください。

納得できないときには、自分がどこで納得できていないのか整理した上で、担当医にもう一度説明してもらうことも大切です。

2. 痛みやつらい症状を和らげる

痛みやつらい症状があると、正しい判断や治療を選択することができなくなります。また痛みを我慢すると、がんの治療を続けられなくなったり、夜眠れなくなる、食欲がなくなる、活動が制限される、気持ちがふさぎ込むなどして、生活への影響も大きくなってしまいます。痛みやそのほかのつらい症状がある場合には、まずその症状を和らげるための治療を受けることが大切です。痛みに限らず、患者さんの体や心のつらさを和らげ、生活やその人らしさを大切にすることを緩和(かんわ)ケアといいます。

緩和ケアと聞くと、「がんの進行した患者さんに対するケア」と誤解して「まだ緩和ケアを受ける時期ではない」と思い込んでしまう人もいるかもしれません。緩和ケアは、患者さんがどのような病状であっても、どのような時期にも受けることができます。痛みやつらい症状があるならばそれを和らげながら、抗がん剤治療などの治療を受けるのが理想的です。けれども医師があなたの痛みやつらい症状に気付かなかつたり、医師の緩和ケアを始めるタイミングが、遅いあるいは早いと感じることがあるかもしれません。

だからこそ、痛みなどの症状が出ているときにはなおさら、なるべく早いうちに医療者に相談して、十分な痛みやつらい症状を和らげる治療を受けられるようにしていくことが大切です。そしてその上で、あなたに必要な治療を、医師と一緒に選び、納得のいく治療を受けてください。

[◀ あなたの心に起こること](#)

[再発がんの治療の目標と治療方法 ▶](#)

[このサイトについて](#) | [サイトマップ](#) | [お問い合わせ](#)

© 2015 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター